

男体山山行報告

【山行日】2019年 6月 26(水) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園 P AM 5:30

【費 用】マイカー1台 1,700円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL 大西、安西、岩
淵、菊池、島田、鈴木ヒ、鶴見、福島、

【コースタイム】栃木市運動公園 P5:30＝

二荒山神社 6:40/7:00～四合目 8:15/8:20～

八合目 9:50/10:00～男体山 11:00/12:05～

八合目 12:45/12:55～四合目 14:10～

二荒山神社 15:05/15:20＝鬼平 15:50/16:00＝栃木市運動公園 P16:40

6/9(日)と6/20(木)に男体山山行を計画したが、いずれも雨の為中止を余儀なくされた。
夏山の前にどうしても男体山に登りたいと要望があり、3度目の計画を立て登ることにした。

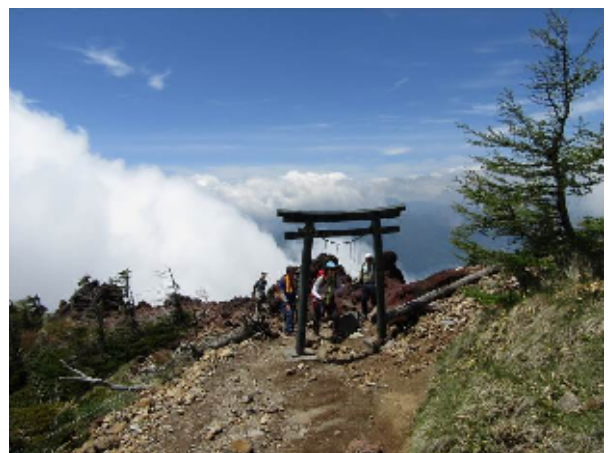


3度目の正直で晴天に恵まれ、ホッと胸をなでおろして栃木市運動公園を出発する。二荒山神社の駐車場に着くと、現地集合の T 見さんはすでに到着しており、合流してストレッチを済ませる。石段を上がって社務所に行き、登山計画書を提出して志納金を納めお礼と案内図をいただく。本殿右側の門をくぐり、表参道を登ると一合目の遥拝所に着く。ここからは樹林帯の中の山道を登るが、昨日も晴れたお蔭で登山道はとても登り易い。地肌がむき出た登山道が幾筋もあり、

登り易い道を選びながら登って行く。二合目、三合目を越え、工事用の道路に出て、道路をしばらく進むと鳥居が立つ四合目に着く。休憩を取ってキーウイフルーツを食べ、水分を補給したら山道に入る。鉄パイプ製の手すりが付いた急坂を登り、粗末な小屋が立つ場所が五合目である。五合目を過ぎてしばらくすると樹林が切れ、倒木が散在する急峻なガレ場を登るようになる。振り返ると展望が開け、眼下に中禅寺湖や南岸の山々が見えるようになる。皆さん元気で会話が弾み、六合目は気づかずに通り過ぎる。高度を増すごとに展望が良くなり、中禅寺湖や八丁出島、社山等が望める。

七合目で小休止し、F 島さんの体調が悪く O 嬢と

2人でゆっくり登ることにする。7名が先行して登り、八合目の滝尾神社で休憩し水分を補給する。登山道は土砂崩れ防止の土嚢で補強された道になり、左右と真ん中の歩き易い道を選んで登って行く。九合目の道標を過ぎると広い火山礫の斜面になり、足元がグズグズ崩れて登りにくくなる。



しかし西側の展望が開け、戦場ヶ原や小田代が原、高山が俯瞰できるが、日光白根山は雲に覆わ



れて顔を見せなかった。展望を楽しみながら小休止し、汗が引いたら山頂をめざす。上方右手に黒いゴツゴツした岩が見えてくると山頂は近い。

ゴツゴツした黒い岩を越えると、上方に二荒大神の銅像が見え、ほんのひと登りで男体山山頂の奥宮に着く。奥宮に参拝し、無事登頂のお礼と今年一年の無事登山を祈願した。ザックを置いて東側の大剣が建つ山頂に登り、記念写真を撮って太郎山や大真名子山の眺望を楽しむ。後続の二人にTELすると、2400m地点まで来ているとの事で、

迎えに降りて行く。ザックを背負って山頂まで登り、山頂のベンチでランチタイムとする。

お湯を沸かし、各自持参したカップ麺やスープとおにぎりやパンをいただく。

筍の煮つけやきゅうりやダイコンの漬物が並び、豪華なランチを楽しんだ。ランチが済んだら全員で山頂に登り、大剣の前で記念写真を撮る。大剣の裏側に2484.4mの一等三角点が置かれ、ここからの眺望がすばらしい。眺望を楽しんだら下山する。下山は来た道を引き返すが、ガレ場の下りは足元に注意し慎重に下る。八合目までは快調に下って行くが、八合目からの岩場の下りは時間が掛かる。それでも四合目にはほぼ予定通り着き、二荒山神社に予定通り到着した。



帰り道に日光の銘菓「鬼平の水羊羹」をゲットし、予定通り栃木市運動公園に帰着した。

